

第 33 回大阪病理技術研究会

日 時：平成 31 年 2 月 17 日（日） 13：30～17：30

会 場：住友病院 14 階 講堂

参加費：会員 500 円 賛助会員 500 円 非会員 1,000 円

【プログラム】

受付開始 13:00～

開会の辞 13:30～13：35

第一部 13:35～14：40

当院の病理組織検査におけるヒューマンエラー防止対策について

りんくう総合医療センター 小島 義忠

病理検査業務とヒューマンエラー ～医療安全の観点から～

大阪回生病院 菅原 眞由美

LBC を用いた術中組織洗浄細胞診

和歌山県立医科大学 木下 勇一

— 休憩 14:40～14：55 —

第二部 14：55～15：55

切片の吸着の機序と剥離の抑制

奈良県立医科大学附属病院 渡邊 拓也

固定後の組織が乾燥した場合のトラブルシューティング ～対策と検討～

兵庫医科大学病院 鳥居 洋祐

新しい髄鞘染色の検討（第一報）

兵庫医科大学病院 中村 純子

— 休憩 15:55～16：15 —

第三部 16：15～17：25

凍結標本作製法の工夫・検討

名古屋大学全学技術センター，名古屋大学大学院医学研究科 牛田 かおり

Pile-up 組織アレイの有用性について ～コンベンショナルタイプ組織アレイとの比較～

神戸大学医学部附属病院 二反田 隆夫

一級臨床検査士（病理学）資格認定試験について

洛和会音羽病院 森藤 哲史

閉会の辞 17:25～17：30